

新・下野市風土記

風土記の丘と天平の丘



下野市教育委員会 文化財課

令和3年春に、しもつけ風土記の丘資料館のリニューアルが予定されています。今回は、遙かな過去の話ではなく、ちょっとだけ昔、しもつけ風土記の丘資料館と天平の丘公園の歴史を紹介します。

「風土記の丘」の歴史

しもつけ風土記の丘資料館は、昭和61(1986)年に県立の資料館として開設し、平成27(2015)年に下野市に移管されました。

実は、風土記の丘という名称は、栃木県独自のものではありません。昭和41(1966)年に文化財保護委員会が策定した「風土記の丘設置構想」からきています。

1960年代の高度経済成長期、全国各地で大規模開発が進み、歴史的景観や史跡が失われる危機に直面したことを背景に、「風土記の丘設置構想」は生まれました。

古墳や城跡など、各地の歴史的な資源を広域的に整備し、歴史資料などを収蔵・展示する資料館を併設することで、遺跡と資料の一体的な保存と普及を目的としたのです。

2つの「風土記の丘」

栃木県には、全国的に例のないことですが、県内に2つの風土記の丘があります。しもつけ風土記の丘と、平成4(1992)年に設置された、なす風土記の丘です。

なす風土記の丘は、国史跡・那須官衙遺跡(旧小川町)に隣接した小川館と、国史跡・上侍塚古墳(しもさむらいづか)と下侍塚古墳(旧湯津上村)に隣接した湯津上館からなっていました。現在は、小川館は那珂川町、湯津上館は大田原市にそれぞれ移管されています。

栃木県以外の風土記の丘一覧

年代	施設名	所在地
	代表的な遺跡等	
60年代	西都原風土記の丘	宮崎県
	西都原古墳群	
	さきたま風土記の丘	埼玉県
70年代	埼玉古墳群	
	近江風土記の丘	滋賀県
	安土城跡、瓢箪山古墳など	
	紀伊風土記の丘	和歌山県
	岩橋千塚古墳群	
	八雲立つ風土記の丘	島根県
	出雲国府跡、岡田山古墳群	
	立山風土記の丘	富山県
	雄山神社、旧嶋家住宅、閻魔堂	
	房総風土記の丘	千葉県
	岩屋古墳、旧学習院初等科正堂	
80年代	吉備路風土記の丘	岡山県
	備中国分寺跡、備中国分尼寺跡	
	みよし風土記の丘	広島県
	浄楽寺・セツ塚古墳群、旧真野家住宅	
	宇佐風土記の丘	大分県
90年代	川部・高森古墳群	
	近つ飛鳥風土記の丘	大阪府
	一須賀古墳群	
	甲斐風土記の丘	山梨県
90年代	銚子塚古墳附丸山塚古墳	
	肥後古代の森	熊本県
	うきたむ風土記の丘	山形県
	日向洞窟	

天平の丘公園のなりたち

昭和40(1965)年、国史跡指定地の整備が、国の補助事業として予算化されました。

この事業化に合わせて下野国分寺跡の史跡整備計画が予定されていましたが、ちょうどこの頃、下野国分尼寺跡が発見されました。

そのため、下野国分寺跡の整備より先に下野国分尼寺跡の調査が行われ、昭和40年4月に国の史跡へ指定、その後整備事業が行われ、昭和

45(1970)年には、全国の国分尼寺跡に先駆け、初の史跡公園となりました。

公園は、天平の丘公園と名付けられ、昭和55(1980)年から、現在の天平の花まつりの前身である国分寺の花まつりが始まりました。

天平の丘公園は、令和の大嘗祭で歌人、篠弘氏が「三月の淡墨桜を皮切りに咲き広がる天平の丘」と風俗歌を詠んだように、栃木県の春を告げる景観として、今も親しまれています。